

## ホスピスケアと在宅ケア76 Vol. 27 No. 3

### 目 次

巻 頭 言	The Compassionate Cities and Community	藤田 益伸	225
総 説	看護学分野における『寄り添う』に関する概念分析	石川 美智、他	227
原 著	地域住民に対するアンケート調査からみた希望する最期の場所と在宅死評価の二面性	友居 和美	236
	高齢者の自身の死への向き合い方について	中木 里実	245
	介護施設職員の心理的困難の構造 －自由記述の分析をもとに－	藤田 益伸、他	254
	看護基礎教育における最期まで生きることを支える教育の現状と課題	黒田真由美、他	261
	肝細胞がん終末期患者が在宅緩和ケアへの移行過程において体験した困難	森 京子、他	271
	高齢ストーマ保有者が経験する困難	古川 智恵、他	279
報 告	音楽療法士による終末期がん患者に対する音楽療法 －日本バプテスト病院ホスピス病棟における17年間の活動報告	伊藤 怜子、他	286
	非がん患者に対し、モルヒネ投与を含む緩和ケアを行った一例	和田 咲子、他	292
	在宅緩和ケア医が、がん診療連携拠点病院に出向いて行う緩和ケア外来の意義	原口 勝、他	298
	終末期の延命をめぐる高齢患者・家族への看護師の関わりについての文献検討	長尾 匡子	308
手 紙	認知症高齢者のスピリチュアルケアの要素に関する一考察 －看護師・介護士のインタビュー調査から－	平川 仁尚	317
フォーラム	《黒田裕子記念 神戸フォーラム2019 開催報告》		319
	勉強会報告「compassionate community」		331
文献紹介	通常のジンマシンにステロイドは無益	編集部	334
今月号には			ii
会 告			iii
投稿のご案内	(改訂版)		iv